

グラフで見る関西経済(2023年4月)

2023年4月25日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～足踏み状態となっている

【今月のポイント】

- 関西経済は、足踏み状態となっている。
- 2月の生産は2カ月ぶりに前月比で増加したものの水準は依然低く、弱含んでいる。電子部品デバイスは減少、汎用・生産用・業務用機械は低水準で横ばいとなった。
- 3月の実質輸出は前月比-2.1%と2カ月ぶりに低下し、弱含んでいる。
- 22年度の設備投資は前年比+13.4%と2桁増の見込み。
- 個人消費は、物価上昇の影響が懸念されるが、ウィズコロナの進展(定着)により持ち直しの動きがみられる。自動車販売も、コロナ前を下回る水準ではあるが、持ち直しの動きがみられる。

項目	現状
景気全般	足踏み状態となっている
生産	弱含んでいる
輸出	弱含んでいる(↓)
設備投資	持ち直している(↑)
雇用	持ち直しの動きがみられる
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	持ち直しの動きがみられる
住宅投資	横ばい圏で推移
公共投資	横ばい圏で推移(↑)

注: ()内は前月からの変化の方向

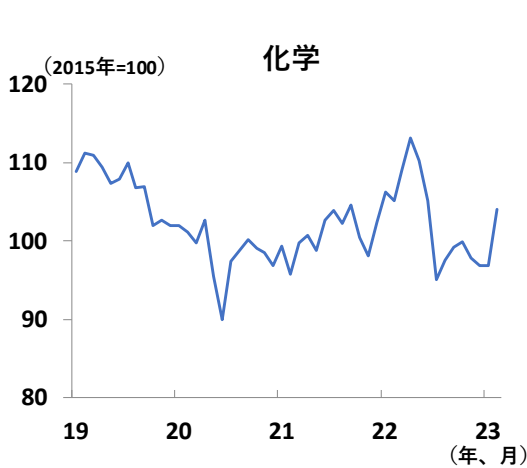
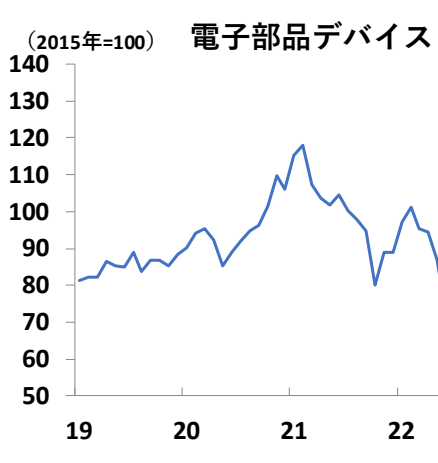
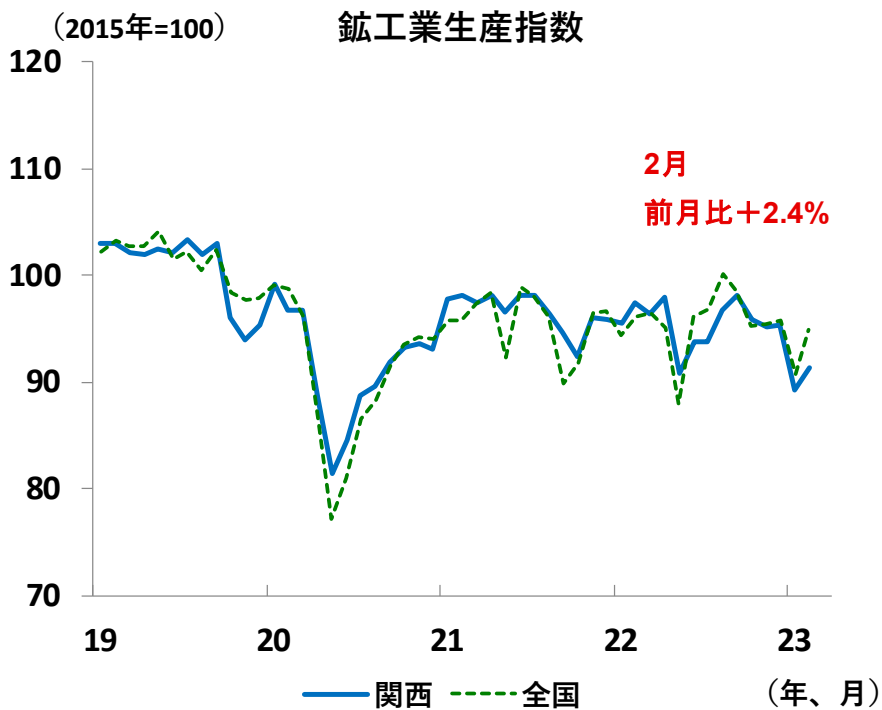
輸出は、「足踏み状態となっている」から下方修正(↓)

設備投資は、「持ち直しの動きがみられる」から上方修正(↑)

公共投資は、「請負金額は弱含み」から上方修正(↑)

生産

2月の鉱工業生産(関西)は前月比+2.4%と2ヵ月ぶりに増加したが、水準は依然低く、均してみると弱含んでいる。業種別では、電子部品デバイスが減少、汎用・生産用・業務用機械が横ばいとなり、化学は増加した。

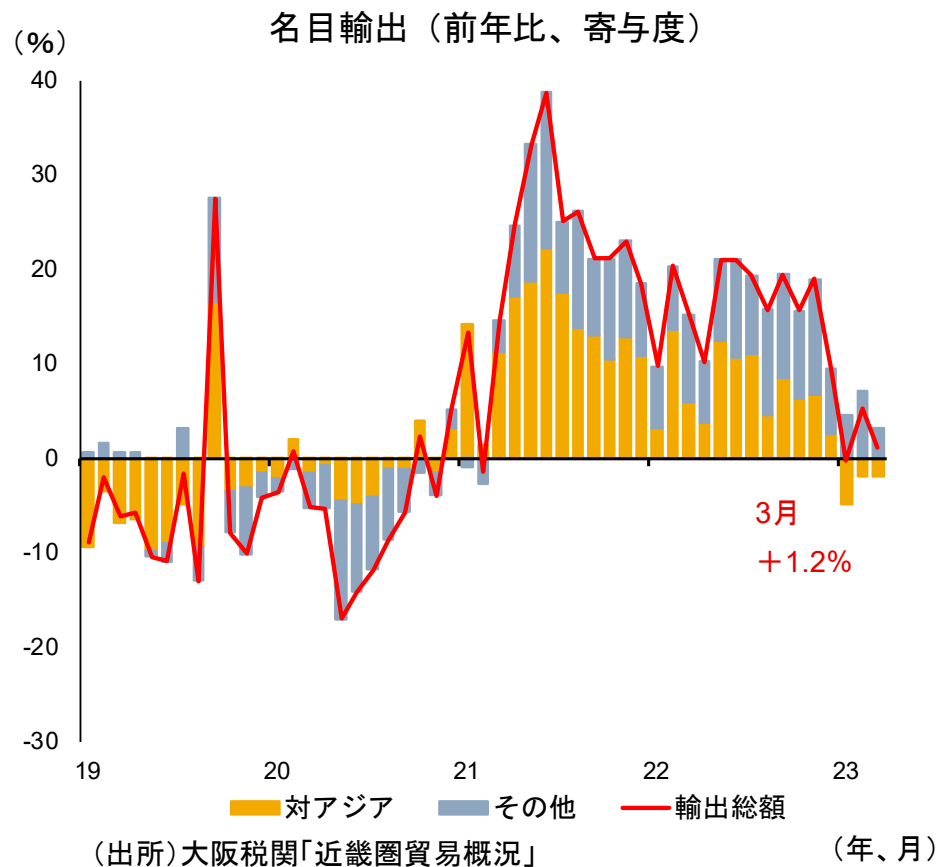
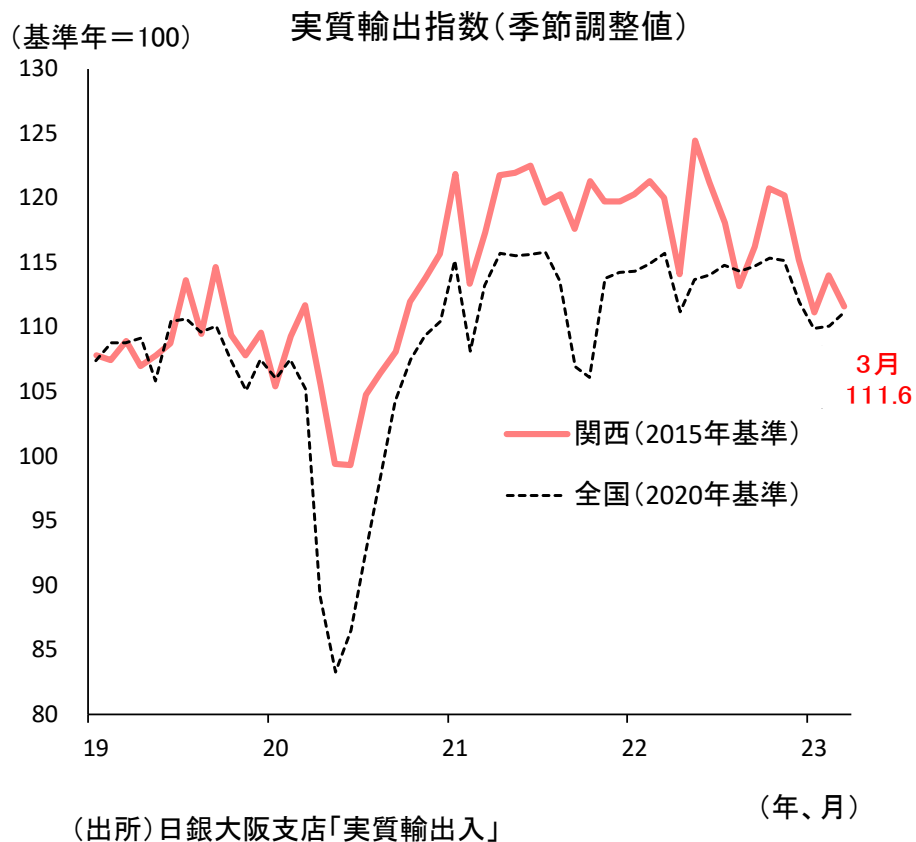


(出所)経済産業省「鉱工業生産動向」

輸出

3月の実質輸出(季節調整値)は前月比-2.1%の111.6と2ヵ月ぶりに低下し、弱含んでいる。

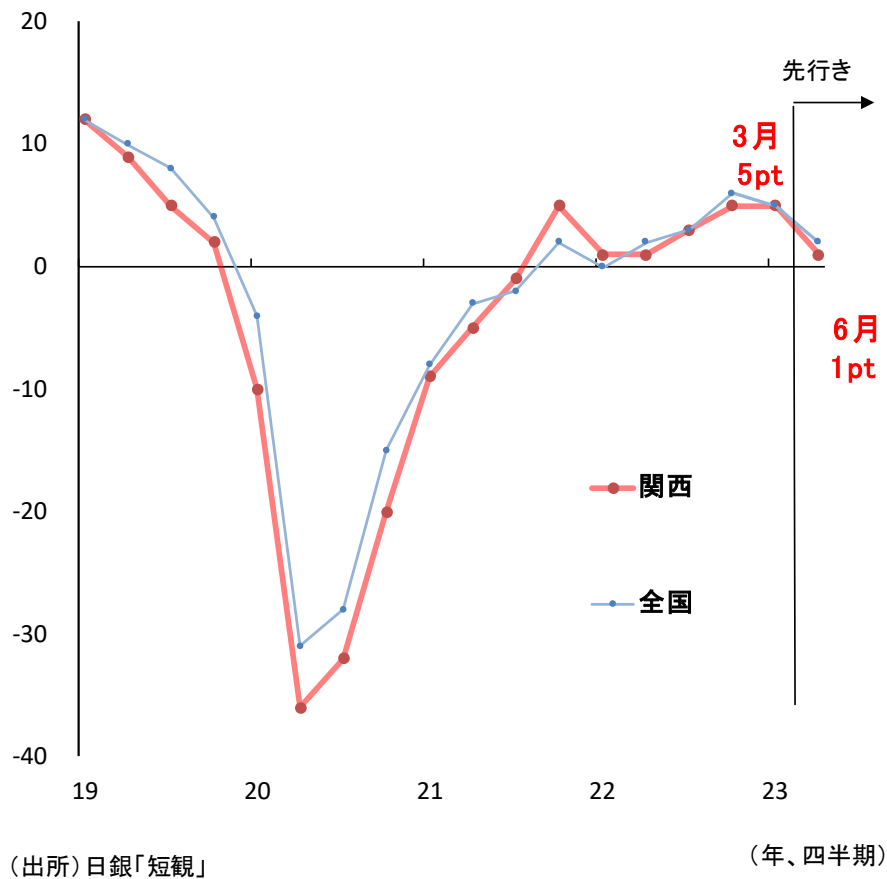
名目輸出額(3月)は2ヵ月連続で増加となったが、伸び率は縮小。地域別ではアジア向け、EU向けが減少したが、他は増加した。アジア内では中国、ASEANは増加したがNIEsが減少した。品目別では医薬品、原動機などが増加した。



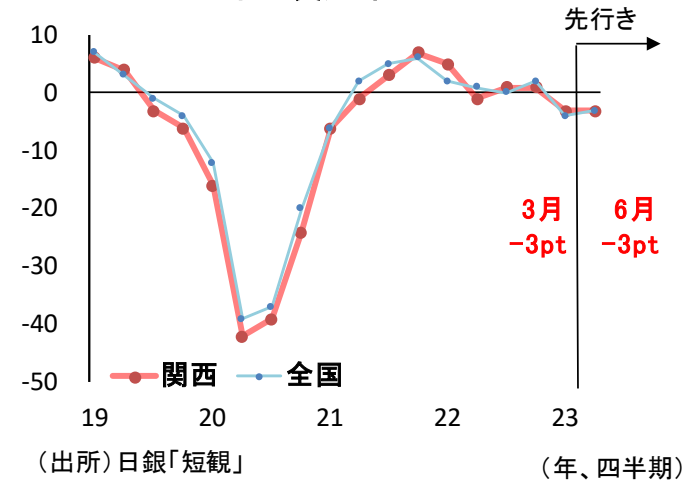
企業景況感(日銀短観)

日銀短観3月調査の業況判断DIは、全産業で+5ptと12月調査から横ばい。海外経済減速等の影響で製造業は悪化し、ウイズコロナの定着、インバウンド回復もあって非製造業は改善した。先行き(6月)については、製造業は横ばい、非製造業は悪化が見込まれている。

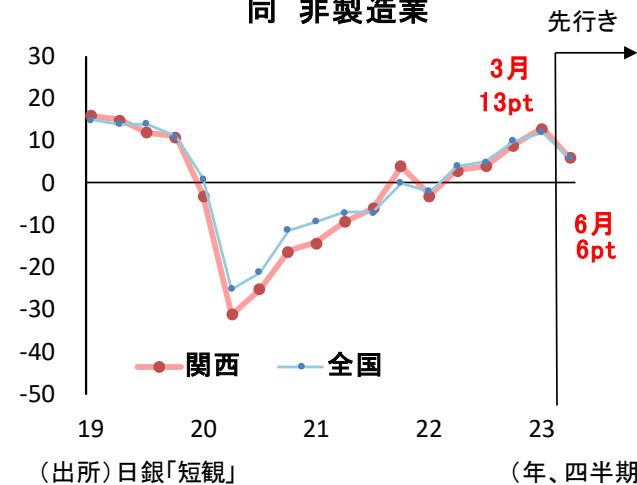
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

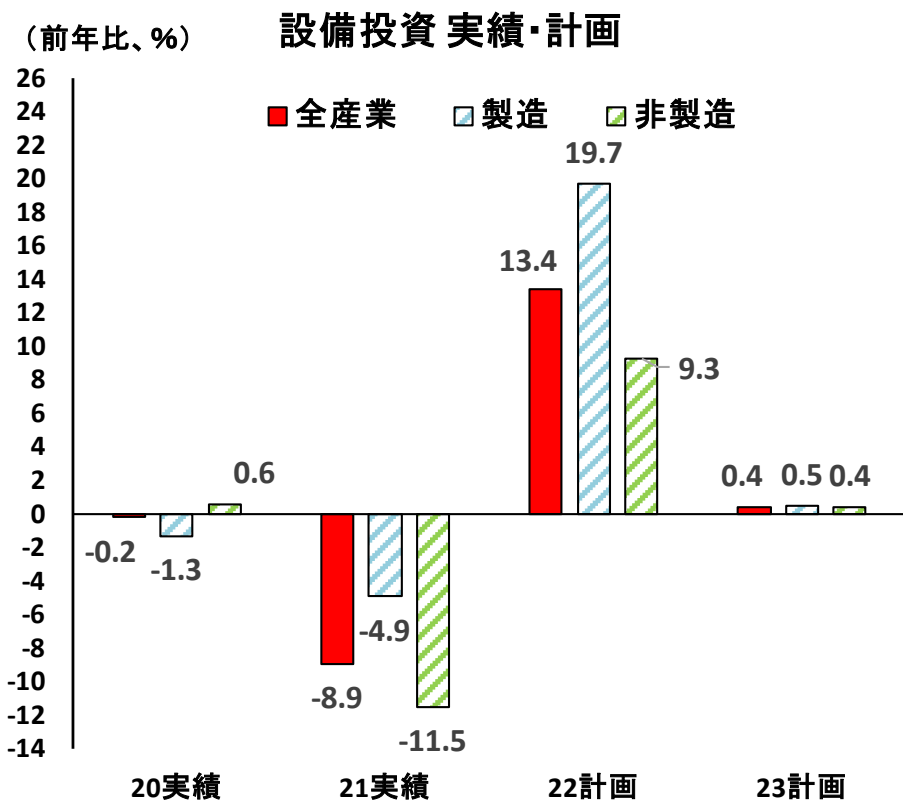


同 非製造業



設備投資

日銀短観3月調査によると、22年度の設備投資は前年比+13.4%と、12月調査から下方修正となったが2桁増の高い伸びを見込んでおり、持ち直している。23年度については、3月調査ということもあり、ほぼ前年度並みの計画となっている。



(出所)日銀大阪支店「短観」
(注)設備投資は、含む土地投資額

(年度)

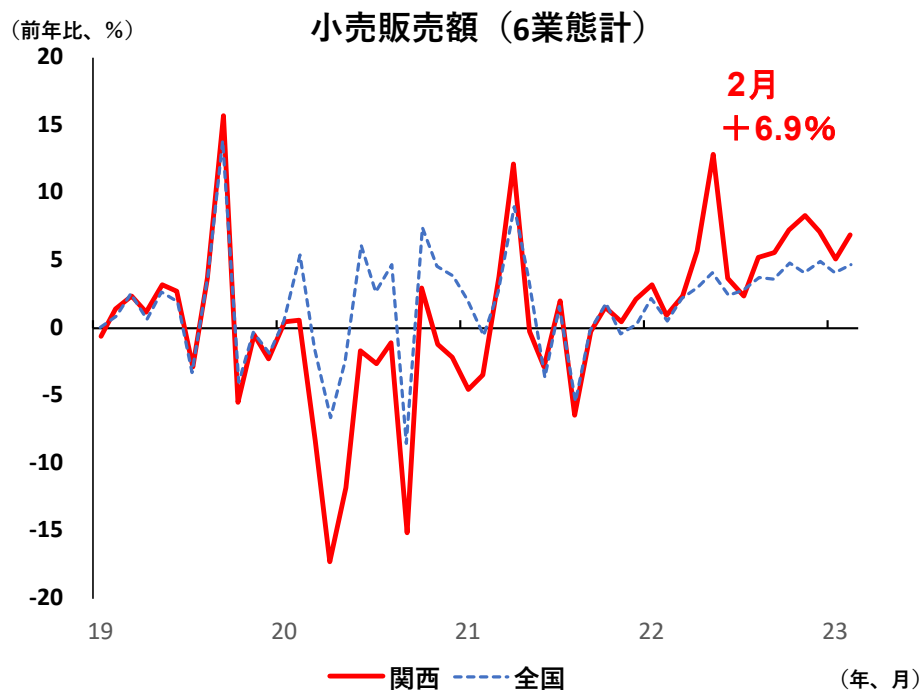
設備投資額(前年比%)

	21年度実績	22年度計画		23年度計画
		今回調査 (前回調査との差異)	前回調査	
全産業	-8.9	13.4 (-2.5)	15.9	0.4
製造業	-4.9	19.7 (-4.3)	24.0	0.5
非製造業	-11.5	9.3 (-1.3)	10.6	0.4

個人消費(小売売上、自動車販売)

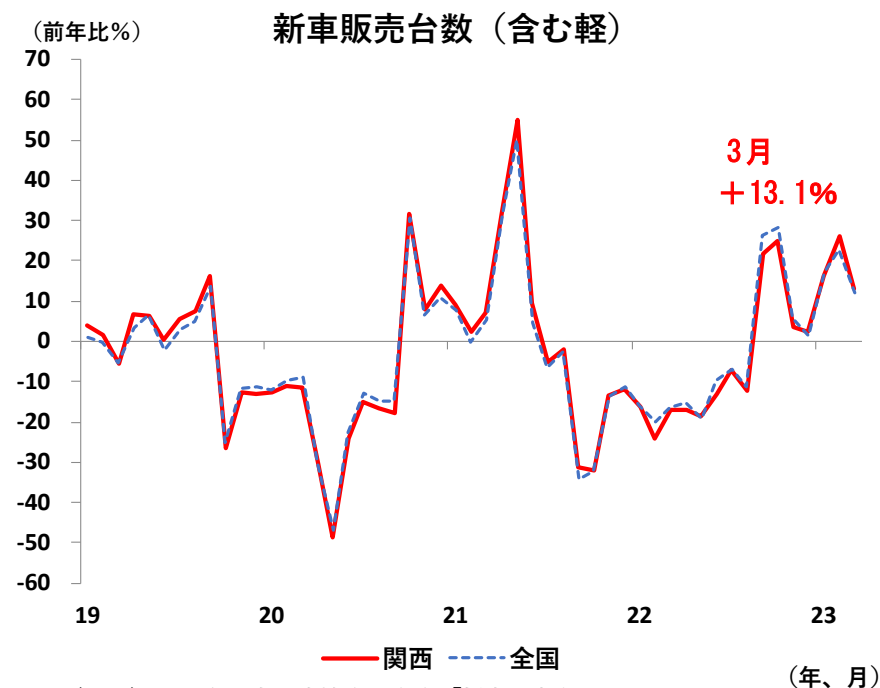
2月の小売販売額は前年比+6.9%と17ヵ月連続で増加した。先行きは、物価上昇の影響が懸念されるが、ウィズコロナの進展(定着)により持ち直しの動きが続くとみられる。

3月の新車販売は、前年比+13.1%と7ヵ月連続で増加。水準はコロナ前を下回る状態が続くものの、持ち直しの動きがみられる。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

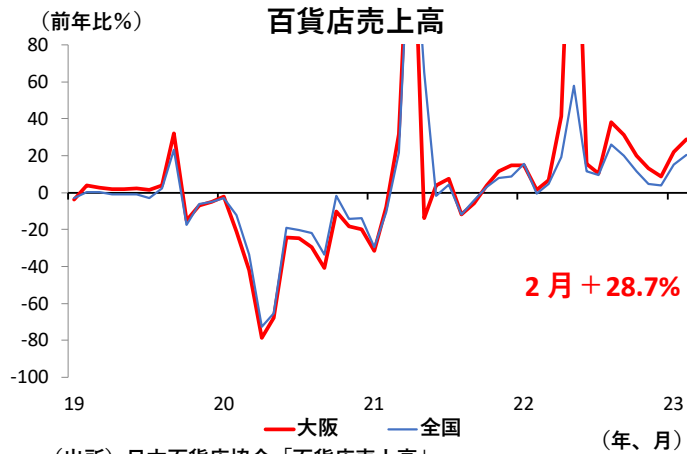


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

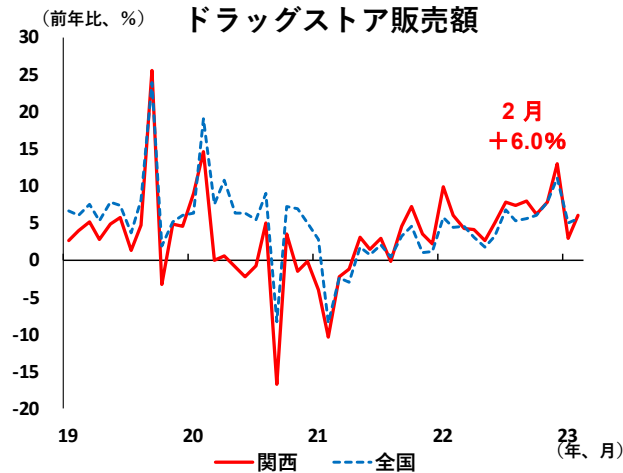
個人消費(業態別)

2月の百貨店売上(大阪)は前年比+28.7%と17ヵ月連続で増加した。京阪神百貨店免税売上指数は、入国制限の緩和もあって水準を上げてきており、2月は755.1と前月から低下したものの、コロナ前のピーク(19年4月の1419.6)の半分強まで戻している。

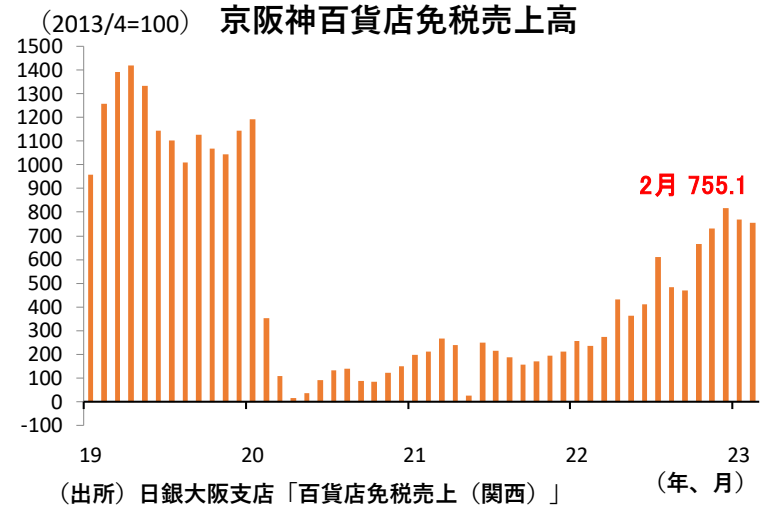


(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」

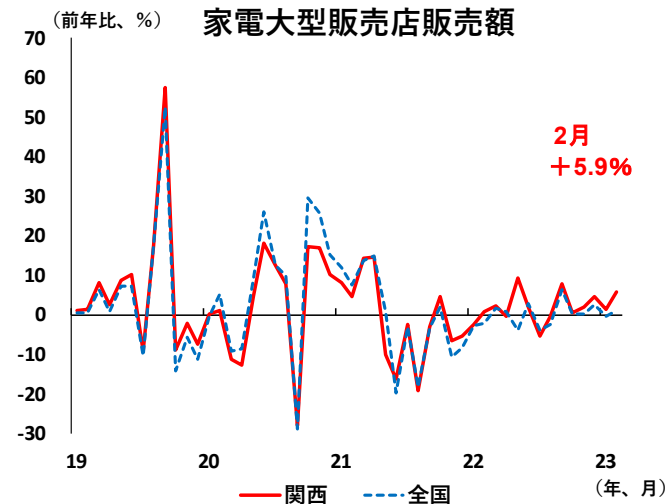
(注) 店舗調整後前年比



(出所) 経済産業省「商業動態統計」



(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西)」



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

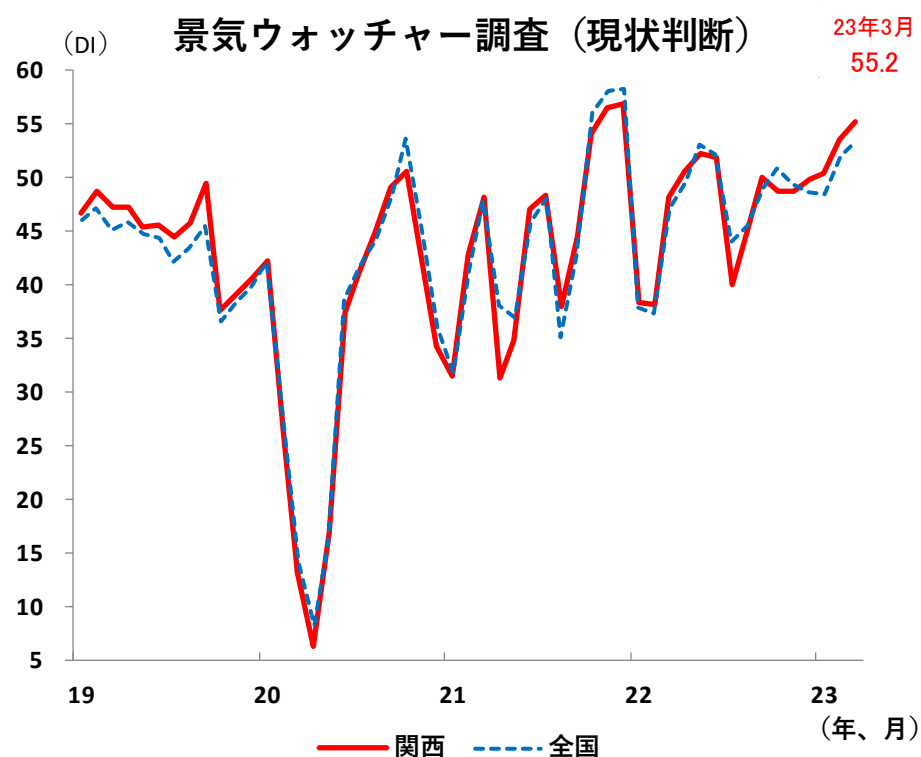
マインド・景況感

3月の消費者態度指数(季節調整値)は33.3と4ヵ月連続で上昇した。

3月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、55.2と4ヵ月連続で上昇。横ばいを示す50を3ヵ月連続で上回った。インバウンドの増加、コロナ感染の落ち着いたが押し上げに寄与した。



(注)関西の季節調整値はMURC試算
(出所)内閣府「消費動向調査」

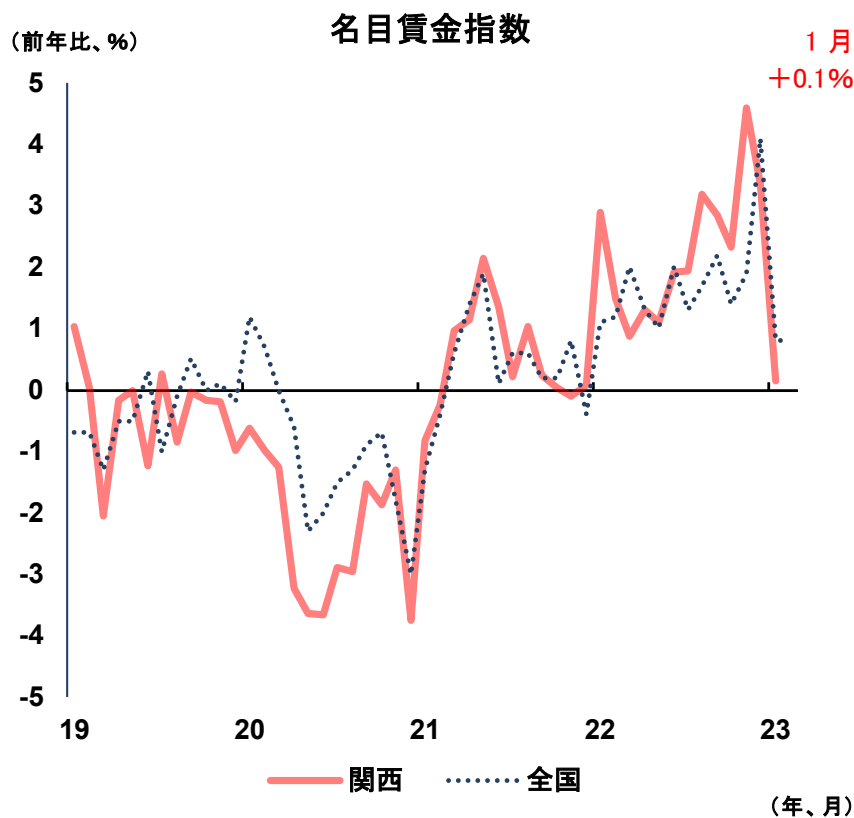


(出所)内閣府「景気ウォッチャー調査」

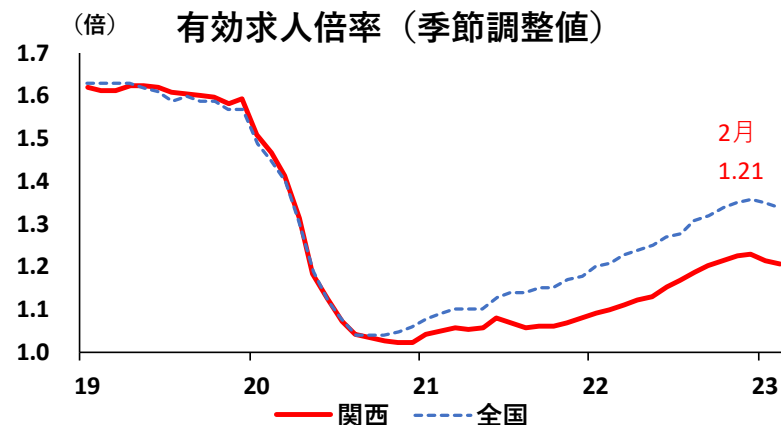
賃金・雇用

1月の名目賃金指数は前年比+0.1%と小幅ながら13カ月連続で増加。

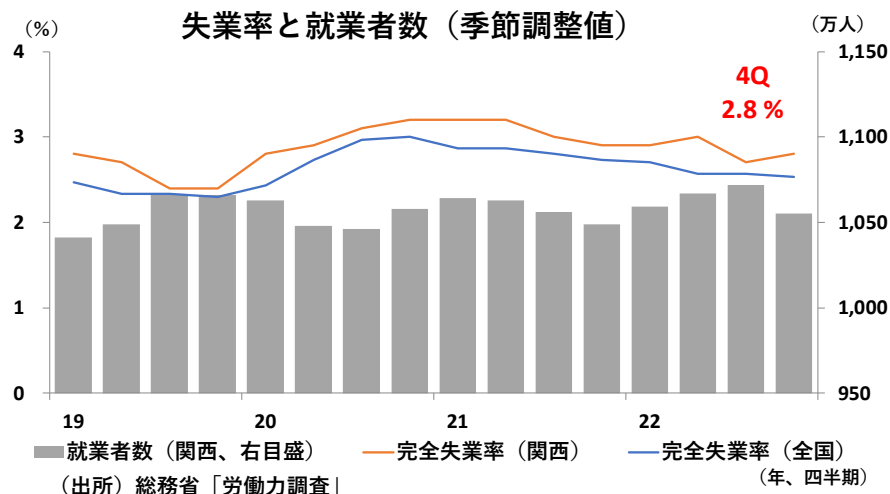
2月の有効求人倍率は1.21倍と前月とほぼ同水準。全国に比べ求職者数増加の度合いが高く、求人倍率は低めで推移している。22年10-12月期の失業率は2.8%と前期より小幅上昇、就業者数は減少した。



(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算
(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」

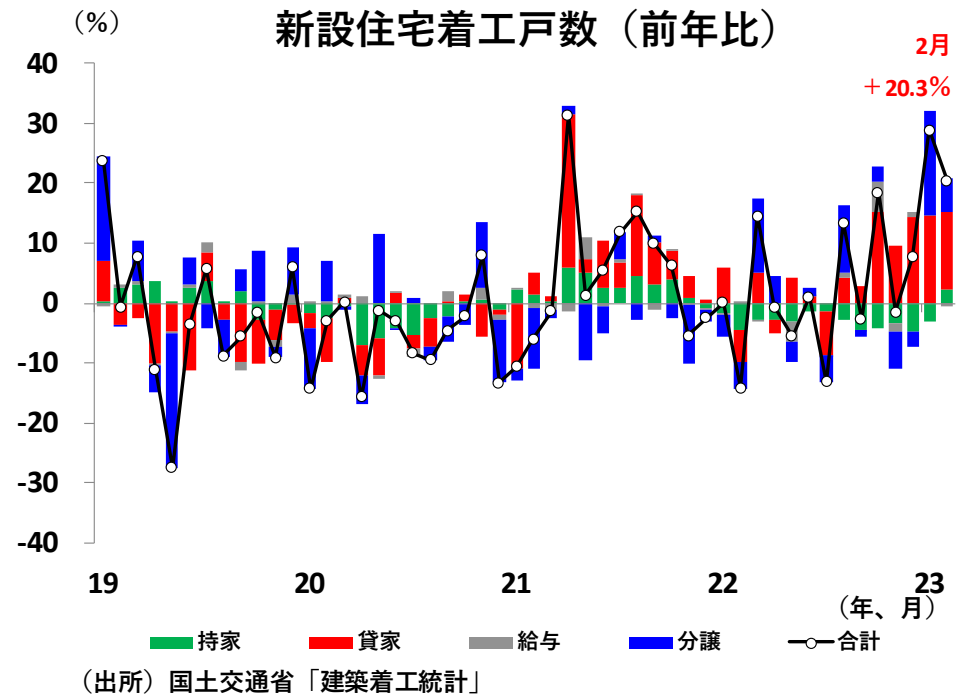
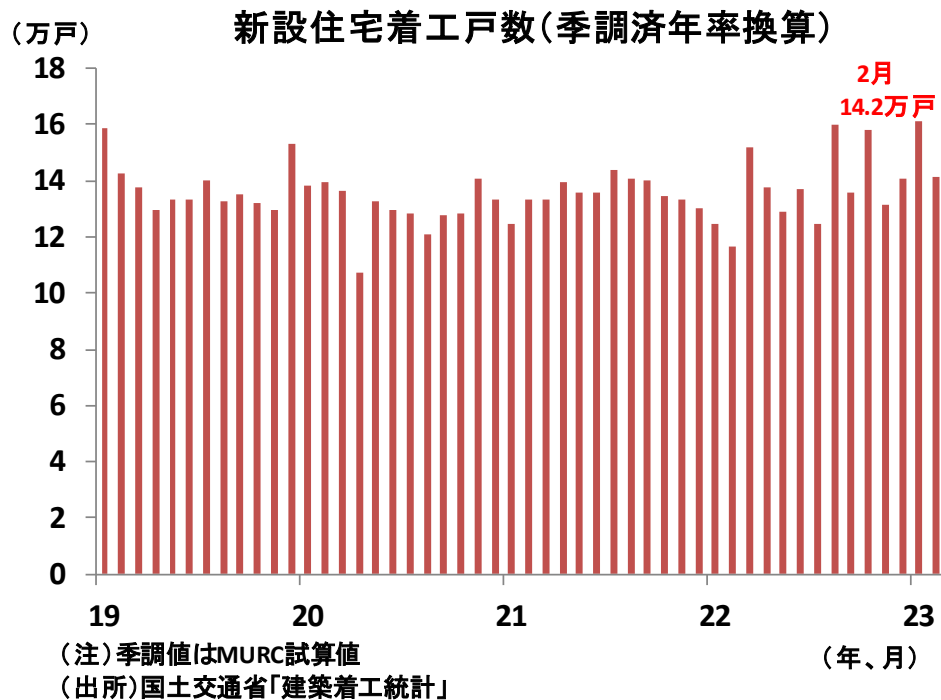


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



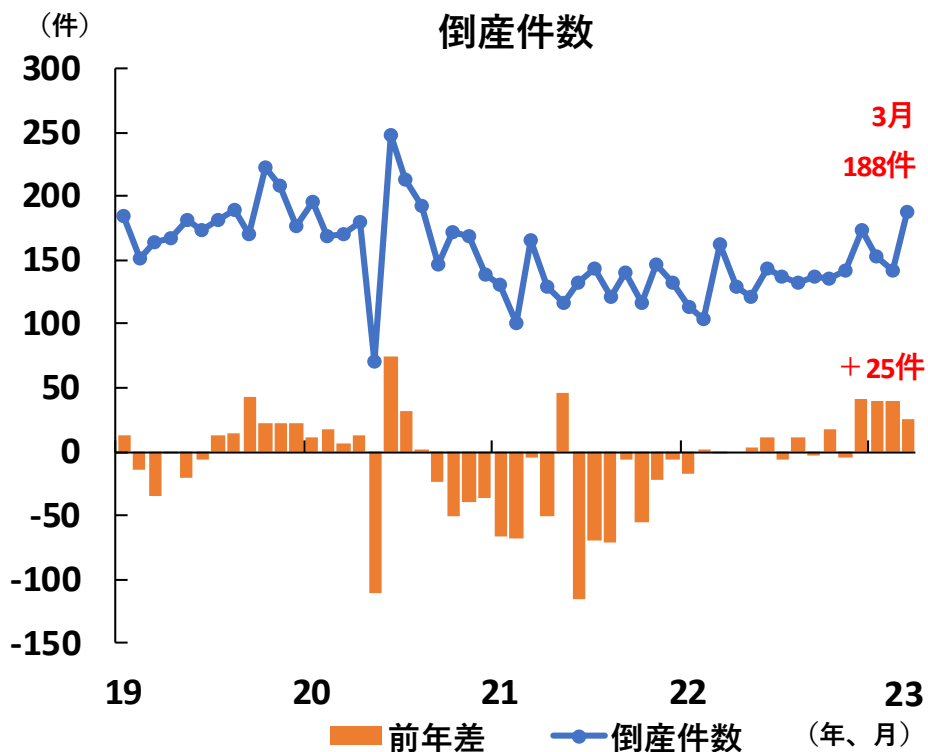
住宅投資

2月の住宅着工は季調・年率14.2万戸と3ヵ月ぶりに前月比で減少。均してみると横ばい圏で推移している。前年比では、持家、貸家、分譲マンションの増加により、全体で+20.3%の増加となった。



倒産

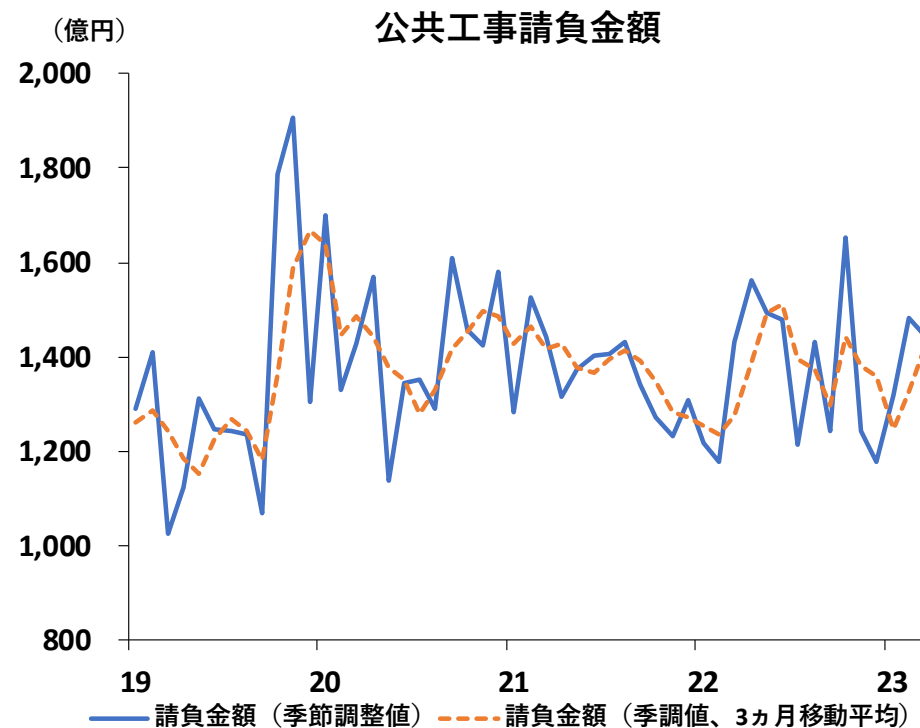
3月の倒産件数は188件と前年から25件増加。このところ前年からの増加が続いている。



(出所) 東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

公共投資

3月の公共工事請負金額は季節調整済前月比で3ヵ月ぶりに減少した。均してみると横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、執筆時点で信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください